

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度行田市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開 催 日 時	令和5年9月29日(金) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時00分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2階 2A・2B会議室
出席者(委員) 氏 名	長岡幸雄委員、山本直樹委員、鯨井歩委員、間宮真路委員 柿沼宏政委員、宮本伸子委員、増田久美子委員、飯田勇司委員 小林義治委員、寺山昌文委員、横田英利委員、岡登圭太委員
欠席者(委員) 氏 名	細井保雄委員、堀口弘委員、新井雅也委員 尾城一幸委員、黒木唯委員
事 務 局	総合政策部：川上企画政策課長、岡野企画政策課主幹 進藤企画政策課主任、高橋企画政策課主事
会 議 内 容	総合戦略の進捗状況について
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・委員名簿 ・資料1 まち・ひと・しごと「総合戦略」について ・資料2 総合戦略の進捗状況 ・資料3 行田市の人口動態等データ ・参 考 会議設置要綱
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	1 開会 2 あいさつ（横田座長） 3 議事
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事に入る前に、会議の公開・非公開に関する取扱いについて確認させていただく。本日の会議では、個人情報を取り扱う予定がないことから、公開とさせていただく。また、会議録は、発言者名を明記の上、要点筆記で作成し、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて、後日公開させていただく。 ・ それでは、本日の「議事」に入る。会議設置要綱第3条第2項の規定により、ここからは横田委員に座長として進行をお願いします。
横田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、議事「総合戦略の進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	「総合戦略の進捗状況について（資料1・資料2・資料3により説明）」
横田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の説明のとおり、総合戦略に位置付けた各種施策の進捗状況については、この有識者会議において検証を行い、いただいたご意見を今後の取組みに活かしていくこととされている。 ・ そういった観点から、ご意見、ご提案があればいただきたい。
飯田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標4の指標である「住みよい」と考える市民の割合について、住みよいと考える市民の割合が年々減少していると思うが、その理由はどのようなものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無作為抽出をした1,000人を対象に、毎年市民意識調査を実施している。行田市の「住みやすさ」についての意見としては、交通網が乏しいという回答が多い。
飯田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値結果だけでなく、詳細の内容についても資料に記載してもらいたい。そうすることで、より詳細な意見交換ができると思う。
横田座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、検証をする際には、数値の理由付けの部分についても資料に記載していただきたいと思う。
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在のデジタル化社会の中で、心豊かに生活できるような市を目指していくために、行田市の自然豊かな歴史あるまちを活かしてどのようにまちづくりをしていくかが重要であるが、この計画からはそうした大きな戦略が見えてこない。例えば、千葉県の流れ山市では、マーケティング課を設置し、「母になるなら流れ山市」をキーワードに人口が増加しているが、こうした基本的な戦略が見えてこない。各論だけでは市民に訴えきれないと思

<p>横田座長</p>	<p>うので、そうした基本的な計画をしっかりと市民に訴えることが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市は交通網が発達していないという観点から、インフラ整備をすることで移住者を呼び込むという考え方も一つあるが、元々行田市が持つ魅力的な資源を十分に発信することで、人口増加を目指していくことも必要であると思う。その辺りも考慮し、今後施策に取り組んでいきたい。
<p>宮本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度は人口社会増になったということであるが、3年程度、同様に社会増になれば本物であると考えている。しかし、数字にこだわりがちだと思うが、もう少し詳細な分析が必要だと感じる。市役所だからこそ、客観的に捉えられない部分の分析をしてもらいたい。 ・ 行田市のような小さなまちが生き残っていくためには、強みを活かしていくことが重要だと考える。行田市でいえば、歴史はもちろんのこと、農業などの特色ある生産を強みとして活かしていく必要があると思う。 ・ また、行田市の強みをいかに発信していくかが大事である。例えば、元々行田市出身であった人や、転勤等で一時的に住んでいた人など、さまざまな形で行田市に関わりを持った方とのネットワークを形成し、データベース化することができれば、他の市にはない行田の強みになるのではないかと思う。
<p>横田座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの強みを活かした人口の呼び込みや魅力の発信の仕方も重要であると思う。
<p>長岡委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在は自治会の高齢化もあり、地域コミュニティーの主体が自治会なのか、公民館なのかという考え方がある。今後、地域のネットワークについて考えていく必要があると感じている。
<p>横田座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今では、集約連携型のまちづくりとも言われているが、公民館や自治会を中心として地域が発展していくことも大事だと考えている。
<p>山本委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市は子育て関係の施策や補助などが充実していると思うが、それが市民の方に知られていない。市民が行政に問い合わせるだけでなく、行政側からもう少しPRできる環境を作ってもらいたい。また、新しい施策だけではなく、今あるものを活かしていくことも重要であると思う。
<p>横田座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内・市外の方問わず、施策を十分に知ってもらうことが需要であると認識している。また、今あるものをどう上手に使っていくかという視点も大事であると思う。
<p>柿沼委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行田市は農業、とりわけ麦と米の産地となっているが、新規就農者は若干いるものの、高齢化に伴って携わる人が減少してきており、今後も減少することが懸念される。

<p>横田座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ また、県内においてもいちごや梨などはブランド化されているものが数多くあるものの、ブランド米と言えるものはあまりない。そのため、魅力あるブランド米を作っていかなければならないと思っている。 ・ 現在、6次産業化の話などあるが、農地の多い行田市ならではのまちづくりを検討していきたい。
<p>小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局からの説明を聞いて、観光客数やYouTubeの再生回数等は目標を超えていることから、徐々に上手くいっているという印象を受けた。しかしながら、学力に関する分野については、目標を下回っている部分も多い印象である。また、2060年の目標人口では、人口が右肩下がりになっているため、若い世代の流出抑制に特化した、若い世代に魅力あるまちづくりのための目玉となる事業を作りだし、人口増に向けて取り組んでもらいたい。
<p>横田座長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市としても人口減少対策を最重要課題として取り組んでいるところであるので、特に若い世代に魅力を感じてもらえるように注力していきたい。 ・ 他に意見がなければ、これにて座長の職を解かせていただく。
<p>司会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以上をもって、令和5年度まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会とする。 <p style="text-align: center;">＜ 閉 会 ＞</p>